



04

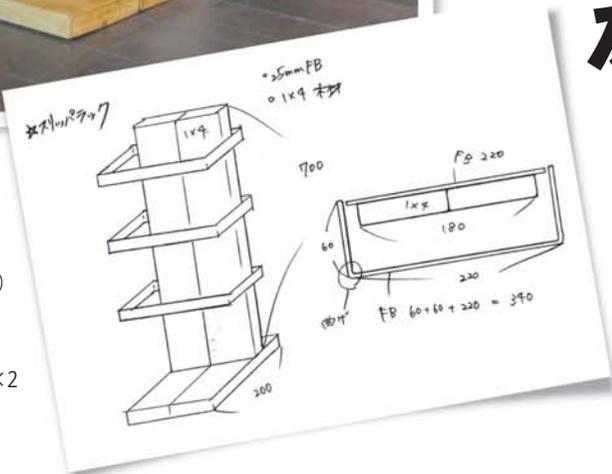
鉄と木の組み合わせが 家と自然に調和する

【使用する材料】

- ①30mmLアングル(3mm厚)
- ②木材(1×4材)
- ③25mmフラットバー(3mm厚)

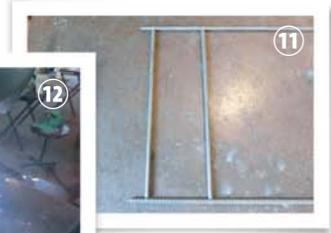
【寸法取り】

- ①アングル 170mm×1
- ②木材 200mm×2 700mm×2
- ③フラットバー 220mm×3
フラットバー=340mm×3



②溶接で組立てる

傘掛け部分を組立てる。



鉄筋を組んで、傘を掛ける部分を作る(写真⑪⑫⑬)。



土台のアングルと鉄筋を溶接する

丸棒や丸パイプは、一気に一周させることは出来ないので、3分の1ずつ溶接しよう。

土台に位置を決めて、鉄筋を立てて溶接する(写真⑭⑮⑯)。

③塗装で仕上げ

仕上げの最終工程。

溶接箇所や尖っている角を取るように研磨する(写真⑰)。



塗装して、アクリル板を内側に敷けば、完成(写真⑱)。



② 溶接で組立て、磨く

溶接でラック部分を作る。



ラック部分を
溶接して
磨く

フラットバーが口の字になるように溶接する。スリッパがかかる部分を3つ作る(写真⑥⑦⑧)。



⑥



⑦

③ ラックを留める

仕上げの最終工程。



⑪



⑨



⑫



⑩

溶接したパーツと木材700mm2本を揃え、実際にスリッパを置いて間隔を確認する。印を付けて、裏からビス留め(写真⑨⑩)。木材200mmにアングルをビス留めし、土台を作り、合わせて完成(写真⑪⑫)。

① 溶接前の下準備

組立前の下準備が大切です。



30mmLアングル(3mm厚)と木材(1×4材)、25mmフラットバー(3mm厚)をカットして材料をそろえる

下準備で材料をカットし、それを溶接で組み立てていく。これが通常の流れだが、今回のスリッパラックでは、曲げるという工程を少し入れたと思う。今までは材料のカット、穴開けで固定する役目の万力だが、これがあれば容易に鉄を曲げることも可能なのだ。

大前提となるのは、万力自体がしっかりと床に固定されていること。固定されていない万力では、正確に曲げることができないだけでなく、思わぬ事故にも繋がりがかねない。この万力を使った材料の「曲げ」が正しく出来ること、溶接作業の手間を軽減させられるし、見た目も綺麗に仕上げるためのコツとなるのだ。



①



②

アングル170mmとフラットバー220mmに木材の中に合わせて間隔でビス穴を開けておく(写真①②)。

Good Point

万力がしっかり固定されていれば、4.5mm厚までのフラットバーや10mmφまでの丸棒、角棒なども曲げられる。クッションハンマーであれば材料に傷は付かない。なるべく重いハンマーを選ぼう。



材料を
カット、曲げて
準備する



⑤



④



③

フラットバー340mmの両端から60mmの位置に印を付け、万力で挟み、ハンマーで叩きながら直角に曲げていく(写真③④⑤)。